

# 平成 18 年度 工学研究科・工学部技術部 特別講演会報告

研修担当代表 森田千明

標記の特別講演会を開催した。参加者は 53 名であった。プログラムは以下のごとくである。今年度は情報科学研究科 メディア科学専攻 末永康仁 教授から「優れたインタフェース実現のための画像の認識と生成」と環境学研究科 附属地震火山・防災研究センター 飛田 潤 助教授から「災害情報システムの現状と技術背景」の講演を頂いた。

「優れたインタフェース実現のための画像の認識と生成」の講演では、「胸部 X 線写真のパターン認識の研究」が世界に先駆けた画像処理研究の端緒であったこと。更に、機械の眼、いわゆるコンピュータビジョン(CV)による“均質で無表情な”画像情報の伝達から、その意味を理解し有機的な“意味”の通信への質的転換の重要性が示された。また、我々の視覚世界をコンピュータの画像データからモデル化させる画像認識や生成技術などのコンピュータグラフィクス(CG)の最新技術の紹介があり、CVとCGの融合について多くの知見を得ることができた。

「災害情報システムの現状と技術背景」の講演では、始めに、兵庫県南部地震における行政の災害時対応の限界、地域住民や民間ボランティア活動など、地震における教訓が示唆された。更に、災害情報システムの国内、東海地域および学内の取り組みの動向や地震発生時の縦波(P波)から横波(S波)が到達するまでに災害予測を伝達する“減災”を意図とする情報システムの最新技術の紹介があった。また、学内における防災体制について、人任せにしない防災、日頃からの意識・行動およびきめ細かな情報への対応がより身近な課題であるとの指摘もあり、広範囲の知見を得ることができた。

## 平成 18 年度 工学研究科・工学部技術部 特別講演会プログラム

日 時：平成 18 年 10 月 3 日(火) 13 時 10 分 ～ 16 時 10 分

場 所：VBL ベンチャーホール(3 階)

### 1. 13:30 開会の挨拶

副研究科長 早川 義一 教授

### 2. 13:50 講演 - 1

題名 「優れたインタフェース実現のための画像の認識と生成」

講師 情報科学研究科 メディア科学専攻 末永 康仁 教授

14:50 休憩

### 15:00 講演 - 2

題名 「災害情報システムの現状と技術背景」

講師 環境学研究科 附属地震火山・防災研究センター 飛田 潤 助教授

### 3. 16:00 閉会の挨拶

統括技術長 林 達也